



「家庭・地域・人との絆を大切に、豊かで明るく安心安全なまちづくり」の実現に向けて、さまざまな活動に取り組んでいるのは、『亀山市婦人会連絡協議会』の皆さん(約230人)。60代～70代の女性を中心に、4地区(亀山・白川・野登・川崎)に分かれて、地域に根ざした活動をしています。その活動の歴史は長く、始まりは昭和30年で、昨年には60周年を迎えました。地域の助け合いが求められる今日、これからも女性の目線や女性のパワーを活かした亀山市婦人会連絡協議会の活動に期待が寄せられます。

一どのような活動を？

「一人暮らしのお年寄り訪問、子どもたちの見守り、三世代交流、地域の催しのお手伝い、環境

美化など、各地区の会員が地域の交流と活性化に向けた取り組みを行っています。また、亀山城桜まつりや花しょうぶまつりなど、市全体の行事のお手伝いもしています。」

一活動しているときの雰囲気は？

「和気あいあいと賑やかに活動しています。これまで会員が培ってきた知識や経験を活かし、色々な意見を出し合って作業や準備が進められていきます。女性が集まると、ときに世間話に花が咲くこともあります。地域の会員同士が顔を合わせてお喋りを楽しむ良い機会にもなっていると思います。」

一活動していて良かったことは？

「『ありがとう』『良かったよ』などと、地域の皆さんに声を掛けてもらえた時が何より嬉しいです。」

また、一人暮らしのお年寄りを訪ねた時に笑顔を見せてくれたとき、三世代交流で微笑ましい家族の姿を見たとき、地域の催しで子どもたちの笑い声が聞こえてきたときなど、地域が賑わい和むようなお手伝いできたとき、私たち会員も心が温まります。」

一これからの活動については？

「微力ながらも、市全体・地域の交流と活性化に向けた活動を継続していきたいと考えます。そのためには、若い世代の女性が入会しやすい環境づくりも必要だと思います。時代は流れていきますが、その時々地域の求められる活動を行っていくことで、“地域の温かみを感じられる亀山”がいつまでも形成されていくことを願っています。」



亀山市名誉市民

彫刻家 **中村 晋也**

作品紹介「ふるさとあい」Vol.3

「EOS」(平成元(1989)年建立)

EOS(エオス)はギリシア神話に登場する曙の女神です。右手に持った光の球を掲げ、左手で手綱を引き、ラン波斯(光)とパエトーン(輝かしきもの)と呼ばれる2頭の馬にひかれた戦車に乗って、太陽神ヘリオスの先駆として闇と戦いながら天空の門戸を開きます。大地に最初の光をもたらすEOSのテーマを、世界に希望をもたらすものの象徴として中村は取り上げたと言います。鹿児島では、市内を見下ろす高台に、朝日の昇る桜島の方角に向かって飛び立つかのように設置されています。



2.5m (高さ)×4.8m (幅)×1.7m (奥行き)

特別協力 公益財団法人中村晋也美術館 [URL http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html](http://www.ne.jp/asahi/musee/nakamura/index.html)